

## 平成24年度第4回北杜市子ども読書活動推進計画策定委員会会議録

- (1) 会議名：平成24年度第4回北杜市子ども読書活動推進計画策定委員会
- (2) 開催日時：平成25年2月1日（金）午後1時30分～
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者： 策定委員 安藤 義行／田中 壽弘／柴山 裕子／倉田 弘江  
松井 美香／早川 和彦／齊藤 満／田畑 雅宏／望月 美良  
山口 昇／浅川 希久子  
事務局 小林 弘（図書館長） 篠原 美恵・小野 まどか（総務担当）
- (5) 議題： 1) 「北杜市子ども読書活動推進計画（第二次）」の内容検討  
2) その他
- (6) 協議内容
- 1) 「北杜市子ども読書活動推進計画（第二次）」の内容検討
- \*事務局より、前回指摘のあった箇所の修正について説明
- 委員：第3章2. について、誰が何をすることがはっきり表記されているのでよい。
- 委員：「Plan-Do-See」について、基本的には「Plan-Do-See-Action」まで。
- 委員：ブックスタートについては「本のプレゼント」を記載してもよいが、セカンドブックについては記載しない方がよいのではないか。
- 事務局：事業仕分けの結果を受けて、それでも必要な事業は継続していくべきだという意見を委員からいただいた。図書館でも事業仕分けの結果から、即廃止なのではなく、やり方等を検討していく。
- 委員：事業仕分けは強制力があるわけではない。
- 委員：事業仕分けの結果から、来年1年生になる子ども（H24年度事業対象）が、本をもらえるか心配だという声があった。
- 事務局：H24年度の事業なので、来年1年生になる子どもには配布する。
- 委員：市民は、事業仕分けの結果から、ブックスタートは完全に廃止されるという意識を持っている。そうではないことをPRしてほしい。
- 委員：事業仕分けの意味を、もう少し行政から説明することが必要。
- 事務局：議会後に市民に向け、結果を公表していく予定。
- 委員：市のHPに事業仕分けの結果が公表されているか。
- 事務局：市のHPにアップされている。
- 委員：事業仕分け＝即廃止ではない。市民に誤解のないようにしてほしい。  
ブックスタートについて廃止になるのか、という話題が挙がるが多くなった。それだけ市民にとってブックスタートに関心が出てきたということ。

委員：ブックスタート事業は費用対効果ではわからない。将来を見据えて考えてほしい。

委員：サードブックは、新1年生ではなく、2年生、3年生…といったように学年に合った事業を展開していったらどうか。

委員：サードブックについて、おすすめ本の紹介でいいなら、ブックスタートもセカンドブックも必要ないと言われるのではないか。  
サードブックは、ブックスタートやセカンドブックと切り離して考えた方がいいのではないか。

事務局：1年生は節目の年でもある。サードブックを廃止するというのではなく、事業内容を見直し、サードブックを展開していくことを検討していく。

委員：サードブックについて、学校との連携を言いながら、学校と図書館に同じような内容を羅列するのは意味がない。学校図書館の活動について、「図書館が手伝う」という意味の内容を記載すべき。

事務局：笛吹市では、事前に郵送しておいた図書館カード申込書を就学時健診時に用紙を配布し、図書館カードを入学式に配布する事業を行っている。

委員：家庭等における具体的な方策について、家庭で出来るもう少し具体的な内容を記載してほしい。

例) 図書館の活用、家読、保護者による読み聞かせ等

事務局：家庭等における具体的な方策の内容は、家庭が受ける内容になっているので、各関係機関に記載し、家庭で行う具体的な内容を記載する。

委員：地域における子どもの読書活動の推進に、子育て支援センターも記載してはどうか。

事務局：子育て支援センターを追記。

委員：第1章1. について、「いじめ行為に表れる思いやりの欠如」は、いじめの原因が思いやりの欠如だけではないので、表現を変えた方がいい。

↓

「いじめ行為に表れる思いやりの欠如」→「想像力の欠如」に修正

委員：ボランティア研修について、「段階的」とはどういう意味か。

委員：ボランティア間でも認識の違いがある。ボランティアとはどういうものか等を、初級、中級、上級といったように、段階的に研修を行う必要があるという意味である。

委員：「こどもにすすめたい本」について、発行ではなく「選定・活用」という表現にし、注釈を付けた方がよい。

委員：「子どもの読書活動に関する基本的な計画」について、抜粋でもいいので資料として掲載してほしい。

委員：アンケート結果について、今後グラフがどういう風に変化するのか、いい方向に変化していくかが重要。このプランが絵に描いた餅にならないようにしたい。

委員：表記について、言葉の並び替え等、わかりやすくする。

委員：推進委員会について、今後どのように進める予定か。

事務局：子どもの読書活動に関わっている人、策定委員会のメンバーを中心に進めていく予定。

委員：策定委員会を設置しなくては意味がないので、設置するように努力してほしい。

## 2) その他

特になし